

# 乳牛専用の総合栄養サプリメント スーパライザー

近年の高泌乳生産を維持・向上させる上で、さまざまな飼養管理技術が話題にされていますが、その基本は、しっかりと栄養素を供給し摂取させる事にあります。

その中で、ビタミン、ミネラルの供給についても、バランスをとる事が通例化しつつある昨今、当社では従来よりビタミン・微量ミネラルを含有する乳牛専用サプリメント、「スーパライザー」を販売しており、乳牛の健康増進にご利用いただいております。

## 一、スーパライザーの特長は

乳牛の健康、乳生産の維持・向上に必要なビタミン、ミネラル、UGF(未知成長因子)源を高濃度含有しており、そのポイント

① ビタミンA、D<sub>3</sub>、Eを高濃度に含有。

ビタミンA、D<sub>3</sub>、Eの主な働きは、粘膜・皮膚などの上皮細胞を保護し、カルシウム・リンのバランスを調整し、血管や内臓の生体膜を保護する作用があります。

② ナイアシン(ニコチン酸)、コリンなどのビタミンB群を豊富に含有。

ビタミンB群は、体内の細胞の中で行なわれる化学反応(代謝)を、スムーズに進行させる酵素の働きを助ける補酵素として、重要な役割を担っています。

その中で、ナイアシンは、炭水化物、脂肪、たんぱく質代謝に関与し、乳成分の安定、ケトシス予防にも影響を与えています(図1)。

また、コリンは、脂質の代謝に関与し、このコリンが不足すると脂肪肝になりやすい事がよく知られており、最近ではコリンのバイ

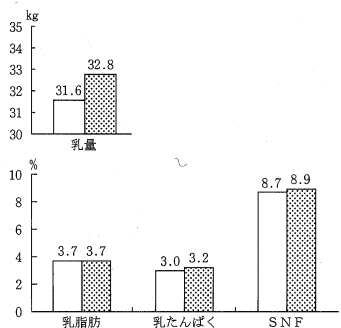


図1 ナイアシン投与の乳量、乳成分調査結果 (1983、北海道研究農場) (□対照区 図ナイアシン区)

パス製品が注目されています。③ UGF源の活用。

UGFとして三種類ほど知られていますが、スーパライザーに使われているジスチラス因子は、第一胃内微生物の増殖、繊維質の消化率を高める働き、そして、VFA産生を高める働きがあります(表1)。

## ④ ミネラルの強化。

## 二、スーパライザーの使い方

このように、とかく不足しがちなビタミン・ミネラルの補給、摂取栄養素の有効利用と胃内発酵の活性化を助長する事から、次のような乳牛を対象にできます。

① 分娩、暑熱などのストレス、高泌乳、それに続く交配受胎までの分娩後三か月間の泌乳最盛期の乳牛。

特に、乾物摂取量の不足や乳房炎などの状況がないのにも係

わらず、分娩後の乳量の伸びがない、乳量の落ち込みが大きい、または早い。あるいは、乳脂肪

率や無脂固形分率が低い乳牛。② 質が悪く、繊維(ADF、NDF)の多い粗飼料を給与している乳牛。

③ ビタミンなどの不足による障害の発生が心配される乳牛。

(一) スーパライザーの一日一頭当たりの給与量  
濃厚飼料の1%、または、育成牛…二五〇g

乳牛…一〇〇g  
他の飼料とよく混合して給与する。また、育成牛は、繁殖月齢に達する頃から受胎するまでの期間。

ビタミン、ミネラルなどは分娩後の様々の障害、繁殖、乳生産に関与しますが、毎日消耗あるいは必要とする栄養素です。よって、日々一定量を確実に摂取して、はじめてその目的が達成されます。

この事は、飼養管理全般にも言える事であり、スーパライザーがその一助として、ご利用いただ

けましたら幸いです。(北研 古川)

**雪印種苗株式会社**  
編集発行人 菊地 庸  
本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目  
TEL(011)831-1161  
FAX(011)820-1582

表1 in vitro調査結果(基質:乾草)

	乾物消化率 (%)	総VFA (mMol/dl)
添加区	47.4	27.3
対照区	44.9	25.7

(1984、北海道研究農場)